

2021年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
アフレコⅡ											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	70	単位	2
担当教員	小形満			実務 経験	有	職種	声優				
授業概要											
アフレコに興味を持たせる。その上で自分が表現したものを録音して聞かせることによってそれぞれの意図と結果のギャップを埋めていき充分な表現ができるように進めていく。											
到達目標											
発声・滑舌の訓練の継続、また作品の理解と自分の役どころを理解し豊かな表現ができることを目標としている。											
授業方法											
実際に使用する機材の使い方とマイクワーク、テキスト（台本）で使われる用語、台本の読み方（芝居の組み立て方）、マイク前での発声、距離感を覚える。マイクの前でも自由に豊かな演技ができるよう指導する。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	20%	表現力、個性、台本の理解度を確認する									
	80%	授業における積極性、コミュニケーション能力、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
自分のことだけに目を向けるのではなく、問題点や課題は仲間と常にチェックしあえるようなクラスの雰囲気作りが大事である。											
教科書教材											
必要に応じ、授業内で資料・アフレコ台本を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	基本のおさらい（1）言葉が均等に粒立っているか										
第2回	基本のおさらい（2）十分な声が出せているか										
第3回	基本のおさらい（3）キャラクターの表現や動きに合わせた表現が出来ているか										
第4回	基本のおさらい（4）共演者との距離感、テンションを合わせてみる										
第5回	基本のおさらい（5）皆とコミュニケーションが取れているか										
第6回	豊かな表現が出来る（1）アフレコにおける距離感を自由に表現出来るようになる										

2021年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
アフレコⅡ	
第7回	豊かな表現が出来る (2) 相手の台詞が聞けるようになる
第8回	豊かな表現が出来る (3) アクションに合わせた豊かな表現が出来るようになる
第9回	豊かな表現が出来る (4) 表現のメリハリを考えてみる
第10回	豊かな表現が出来る (5) こちらの要求を理解し、それに対応出来るようになる
第11回	自分らしい表現を考える (1) 自分の声質、個性を知り自分を客観的に分析できるようになる
第12回	自分らしい表現を考える (2) 自分に合ったキャラクターを考えてみる
第13回	自分らしい表現を考える (3) 役の特徴を掴み表現出来るようになる
第14回	自分らしい表現を考える (4) リアルな表現とは何か考えてみる
第15回	自分らしい表現を考える (5) どうしたら魅力的な表現になるのか考えてみる